

出會いかた

結城幸司

人は、
いや生き物は、と言うべきか
命は出會いと共にある
出會い方により
次の生き方が決まると言っても過言ではないだろう

喜怒哀楽
憎しみ、慈しみ、敬意

出會い次第で
時を重ね、それは、習性やその命の性格となりうる

一つの命でもそうならば
集団的に受けた出會いは
どのようになるのか

近代化の波が押し寄せる根幹のところ

先住民社会と近代化国家との出會いが様々な地域で
様々な出會い方をしてきた
しかし多くの出會いは
血なまぐさい
差別の意識に満ちた出會いであり
経済中心の社会に以降して行くのと同じに
社会の問題として残り
人権を語る時代になると
マイノリティの対象としての位置が当てはめられてきた

しかし行き過ぎた経済中心の社会において
先住民を見つめる視点は
環境破壊を意識し出した
社会との関係は変化を見せる
自然と人間の在り方を文化の中心とした先住民社会こそ
環境破壊にストップをかけて行くヒントに繋がると
意識しだして行くのである
出會いなおしが始まって来たのではないのでしょうか

歴史に新たな視点
思考を加える考え方

先住民と非先住民が
どんな出會いかたをして
どんなコンディションで
時代を進めたか

先住民社会が今日
現代においてどんな変化をおこして来たかを
冷静に判断し

アイヌの方からも
出會いなおしを考える時期が来たのかも知れませんか

侵略か
開拓か

どこから考えるべきか
何を考えるべきか

未来はどうしたいのか
出會いなおしから
撒かれた種はどんな時代の芽吹きを見せるんだらうか
最後に
日本のことばに
「人は、鏡」という言葉がある

構えていれば
相手も構える

抵抗、戦争の構図は
意外とそんな人間の心のありかたなのかも知れない

●
結城幸司（ゆうきこうじ）
1964年、鉏路市生まれ。父はアイヌ解放運動活動家の結城庄司。
2000年に、アイヌ民族伝統の舟「イタオマチブ」の復元作業で出合った
仲間と共に創造集団「アイヌアートプロジェクト」を設立し、代表を務め
る。版画、伝統舞踊、ライブ、講演などを通して、アイヌ文化の復興と提
唱活動を行っている。世界先住民民族ネットワーク AINU 副代表。